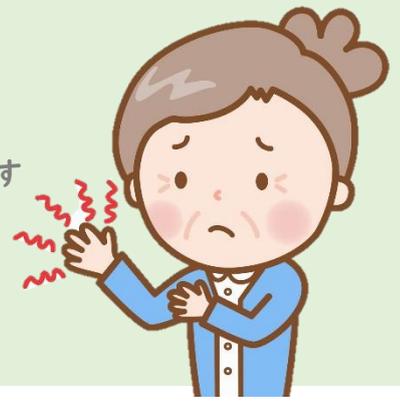


⑪-Ⅲ 手足症候群



抗がん薬による、手や足の皮膚や爪の細胞障害が原因で起こる副作用です
薬剤によって症状は異なりますが、以下が主な症状です

- ・手足のしびれや痛み（感覚異常）
- ・手足の皮膚の赤み、むくみ、シミ、角質化、水ぶくれ
- ・爪の変形や色の变化

原因と出現時期 おもに下記の抗がん薬を投与することで引き起こされます

抗がん薬	出現好発時期
カペシタビン	3週投与・1週休薬では16週までに出現 2週投与・1週休薬では9週までに出現
ソラフェニブ（ネクサバル®） カボザンチニブ（カボメティクス®） など	ソラフェニブは3～9週、カボサンチニブは3週頃 など
ドセタキセル	投与後4～17日頃に出現

手足のケア方法

定期観察とスキンケアを心がけ、手足を外的刺激や負担から保護しましょう

観察		スキンケア の基本	① 洗浄	② 保温	③ 保護
	足裏を含め、手足の症状を定期的に確認				
皮膚の保護					
	コットンの厚手の綿靴下を着用	柔らかい素材でゆとりのある靴や中敷きを使用	手足に負担をかける運動や長時間の散歩を控える	熱いお湯を避け、ゴム手袋を使用し洗剤に直接触れない	日焼け止めを使い直射日光を避ける

☆参考「⑪-I ざ瘡様皮疹」「⑪-II 爪障害」

ご連絡いただきたい状況

熱感や疼痛など感染症の可能性があり、痛くて歩けない、物が持てないなど日常生活が辛い時 など

TEL. 078-261-6711

平日（8:30～17:00）⇒ 各診療科が対応

時間外（17:00～翌8:30）及び土・日・祝日⇒ 救急外来が対応